

# 対馬市市民フォーラム

～ 住み慣れたまちで、生ききる ～

住み慣れた自分の家で最後まで過ごすことはできるの？

在宅療養・在宅看取りっていったい、どんなこと？

これからの生き方について、いっしょに考えてみませんか？

日時 平成 29 年 8 月 19 日 (土) 13:30~16:00  
(受付 13:00~)

場所 対馬市交流センター3階 大会議室

対象 一般住民の方および 医療・介護に関わる保健・医療・福祉関係者

講演 「この町で、最期まで、暮らし続けたいをかなえて  
いくために ～看護師からのメッセージ～」

講師 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 《京都府》

代表 宇都宮 宏子氏

対談 宇都宮宏子氏と対馬市医療統括官 桑原直  
行が、皆さんと在宅医療、退院支援そして  
生き方について語り合います。



●宇都宮 宏子氏  
(在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス代表)  
昭和 55 年京都大学医療技術短期大学部看護学科卒業。  
その後、大阪・函館・高松の医療機関で看護師と  
して勤務。  
高松の病院で訪問看護を経験し在宅ケアの世界に  
入る。  
平成 5 年京都の訪問看護ステーションで勤務、  
病院から在宅に向けた専門的な介入の必要性を  
感じ、平成 14 年 7 月より京大病院で「退院調整  
看護師」として活動。  
平成 24 年 4 月独立起業、京都市内に  
「在宅ケア移行支援研究所」を立ち上げ、  
医療機関の在宅移行支援、地域の在宅医療コーディ  
ネータ事業のコンサルティングを行っている。



主催 対馬の医療・保健・福祉を語ろう会

共催 対馬市

問い合わせ先： 対馬市健康づくり推進部 地域包括・医療対策課

TEL 0920-52-4828

尚、この研修会は公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています